



広報

はむら

平成24年1月1日



Main Content

●新春特集	1
●お知らせ	8
●こどものページ	21
●1月のテレビはむら	21
●1月の相談日ほか	22

表紙の写真

「どんど焼き」で団子を焼く子どもたち

羽村のお正月の風物詩「どんど焼き」には、準備の段階から毎年たくさん子どもたちが参加します。

「どんど焼き」の火で焼いた団子を食べて、一年間の無病息災を願います。

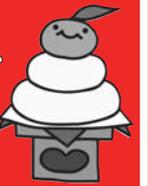
※「どんど焼き」について詳しくは、5ページをご覧ください。

(写真：平成23年1月16日(日)撮影)

2012

謹んで新春の

お慶びを申し上げます



新春対談

市長と語ろう

新春を迎え、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと、心からお慶び申し上げます。

1月1日号は、新春にふさわしいお二人をお迎えし、市長とともに今年の抱負を語っていただきました。



羽村市長 並木 心 「春雨」
春日大輔さん 雨倉直也さん

【司会】 今回は、これからの社会を担う若いお二人をお招き

して、並木市長とともに今年一年の抱負などを伺っていきます。

まずはじめに、市長から市民の皆様にも年頭に当たってのごあいさつを申し上げます。

次の10年に向けて

【市長】 謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、市政運営にご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、東日本大震災や台風15号などの自然災害の発生に加え、新たな世界経済危機が起ころるなど、社会経済情勢は益々厳しさを増しています。



そうした中で、市制施行20周年を迎えた昨年は、第四次羽村市長期総合計画の総仕上げに向けて、子育て支援の充実や障害者、高齢者の福祉、小中一貫教育の実施、都市基盤の整備、自然環境の保全、産業の活性化などを全力で推進してまいりました。

今年も市民の皆様と手を携えながら、皆様の幸せと羽村市の発展を目指して、行政運営に取り組んでまいりたいと考えております。

■新たな二つの計画

現在、平成24年度から始まる向こう10か年の新しいまちづくり計画「第五次羽村市長期総合計画」の策定を進めております。

昨年の12月議会でお認めいただいた新たな「基本構想」ですが、その基本理念を「自立と連携」に、そして将来像を

「ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら」と定めることとしました。

市民、団体、企業の皆様と連携しながら、市長として全力で計画の実現に努めてまいります。

また、長期総合計画とは別に、「生涯学習基本計画」を策定して平成24年度からスタートさせます。子どもから高齢の方まで、それぞれが展開する学習活動を、羽村のコミュニティづくりや人づくりにつなげ、豊かな人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を目指します。

■平成24年の取組み

平成24年に行う事業の一例をあげますと、「コミュニティバスはむらん」の電気バス導入をはじめ、地域防災計画の見直しや防災行政無線の改善、にぎわい商品券第4弾の発行などを予定しています。

市民の皆様と協働してまちづくりを進め、市民誰もが将